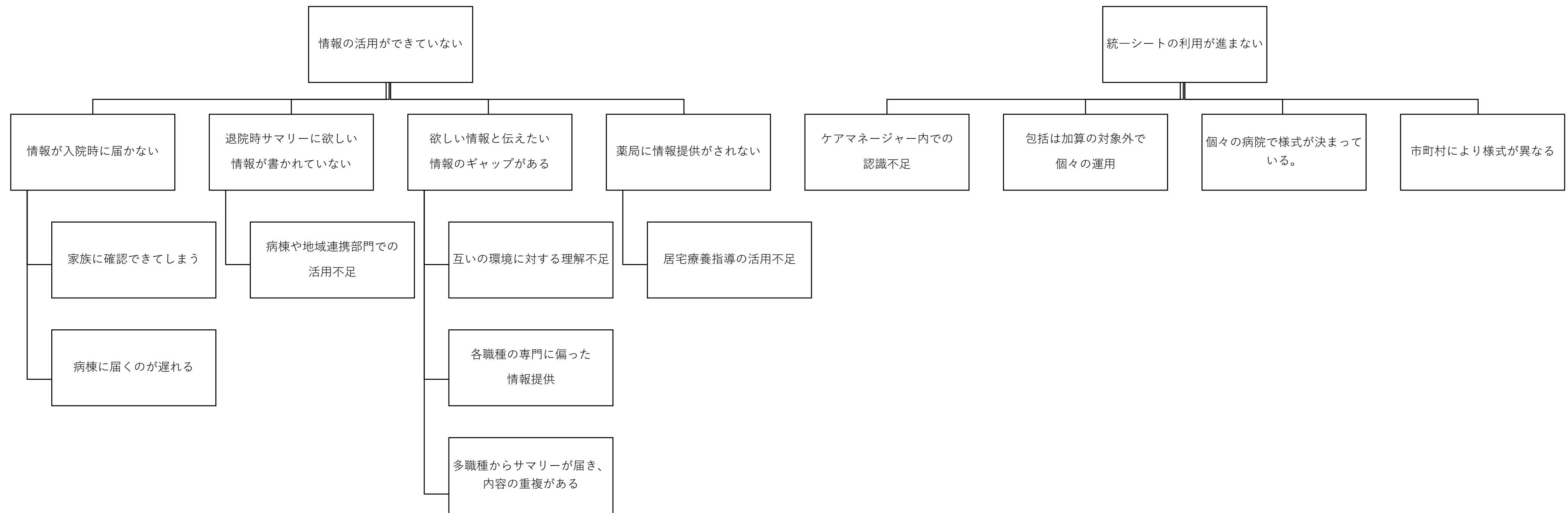


第1回グループワーク結果まとめ



情報の活用ができていないについて

- ・入院時に情報シートを届けるとなると予定入院なら事前に情報を送ることが可能
(患者支援センターや入退院支援室等が対象となるか?)
- ・緊急入院時に欲しい情報とは何かを病院側として考える必要がある。居宅は入院時連携加算の対象項目が網羅されていないと請求できないので現在の連携シートに不足がないかを確認する必要がある。
- ・病棟に届くまでの流れを共有する必要あり。
- ・退院時サマリーに欲しい情報が載っていないについては各職種で検討する必要があるのでは?
- ・多職種共通の項目と、専門性の高い内容は区別して考える必要あり。(重複をどう避けるか?)
- ・居宅療養指導の活用については利点をケアマネ・主治医に周知する必要あり。依頼の促進をどのように図るか?

統一シートの活用が進まないについて

- ・ケアマネージャー内での周知活動で使用頻度の向上を図る
- ・安城市街の地域での統一は近隣市町村と協議が必要。様式はいくつか認める必要がある
- ・地域包括支援センターでの運用統一については包括ネットに確認が必要
- ・退院時の情報提供書、各種サマリーについては病院側で様式統一をしないと難しい。
(記載内容の共有など運用で乗り切る?)